

TRAb-3				7479500	
				担当部署	
TRAb-3				生化	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→免疫・自己抗体→			
	2	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→腫瘍マーカー・内分泌→			
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8 : 15～16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		当日中～翌日			
生物学的基準範囲		1.9IU/L 以下 A I A –パック C L TRAb 添付文書			
臨床判断値		設定なし			
基準値					単位 IU/L
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
0	1.9	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし
パニック値	高値	設定なし			
	低値	設定なし			
生理的変動要因		特記事項なし			
臨床的意義		TSH レセプターは分子量約 100kDa の糖蛋白で、これに TSH が結合すると活性化されるが、このレセプターに対する自己抗体がバセドウ病で血中に認められる。 この抗体は通常 TSH レセプター抗体と呼ばれ、TSH がレセプターと結合するのを阻害する。 これらの抗体の一部には甲状腺刺激作用があり、バセドウ病の充進状態をもたらす。 一方、TSH による刺激を阻止する自己抗体(甲状腺刺激阻止抗体)も存在しており、この場合は甲状腺機能低下症をおこす。 三菱化学メディエンス 検査項目解説 改訂第 4 版 237			